



Y.Machida

THE HANSHIN SPRING JUMP

第27回 阪神スプリングジャンプ (J・GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 45,000,000円 18,000,000円 11,000,000円 6,800,000円 4,500,000円
付加賞 280,000円 80,000円 40,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 4歳59^{kg}・5歳以上60^{kg}、牝馬2^{kg}減、J・GI競走1着馬2^{kg}増、J・GII競走1着馬1^{kg}増

2025.3.15 阪神 小雨・良 芝3900m (運合)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	平均 1ハロン	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師
1	⑤	ヴェイルネビュラ	騾7	60	五十嵐雄祐	4:31.7	2-1-2-2	13.9	498(+2)	13.9④	大竹正博(美浦)
2	②	ジュンペロシティ	牡7	61	森 一馬	アタマ	1-2-1-1	13.9	468(-8)	2.3①	武 英智(栗東)
3	③	ネビーイム	牡7	60	小牧加太	5	3-4-3-3	14.0	534(+8)	4.8③	佐々木晶三(栗東)
4	⑧	エコロデュエル	牡6	60	草野太郎	4	4-5-4-4	14.0	478(-4)	2.3②	岩戸孝樹(美浦)
5	⑦	クラブサンダー	牡6	60	黒岩 悠	大差	7-7-7-6	14.1	464(-4)	96.6⑧	牧田和弥(栗東)
6	①	メイショウアツイタ	牡7	60	難波剛健	クビ	6-6-6-5	14.1	502(-6)	76.2⑦	高橋義忠(栗東)
7	④	マテンロウジョイ	牡5	60	西谷 誠	大差	4-3-5-6	14.4	468(±0)	20.6⑤	四位洋文(栗東)
中止	⑥	グルーヴビート	牡7	60	中村将之				492(±0)	26.2⑥	中村直也(栗東)

単勝⑤1,390円(4^{kg}) 複勝⑤250円(4^{kg}) ②120円(2^{kg}) ③180円(3^{kg}) 枠連：発売なし
馬連②-⑤1,430円(4^{kg}) ワイド②-⑥360円(4^{kg}) ③-⑥500円(6^{kg}) ②-③220円(3^{kg})
馬単⑤-②4,380円(14^{kg}) 3連複②-③-⑤1,350円(3^{kg}) 3連単⑤-②-③14,730円(40^{kg})



上り1マイル：1:43.8 上り：800^{kg} 600^{kg}
49.7 - 36.9

アラカルト

- ・五十嵐雄祐騎手は阪神スプリングジャンプ初勝利。この勝利により、障害重賞全6場制覇を達成(中京競馬場では通常障害重賞は実施されていないため記録には含まない)。JRA重賞は本年初勝利、通算11勝目
- ・大竹正博調教師は阪神スプリングジャンプ初勝利。JRA重賞はソーヴァリアントで制した22年チャレンジCに続く通算18勝目
- ・ロードカナロア産駒はJRA重賞通算83勝目
- ・7歳馬の勝利は23年ジェミニキングに続く通算6回目
- ・驕馬の勝利は23年ジェミニキングに続く通算2回目
- ・グルーヴビートは2周目4号障害(いけ垣)着地時につまづき騎手が落馬したため競走中止

ヴェイルネビュラ *Veil Nebula*

騏 鹿毛 2018.2.18生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・吉田勝己氏 美浦・大竹正博厩舎
馬名意味・網状星雲

ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	レディブラッサム 鹿毛 1996	Storm Cat サラトガデューUSA
リングネブラ 黒鹿毛 2009	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA アイリッシュダンス
	ユーアンミーUSA 栗毛 1995	Marquetry Archimillionnaire

5代までのインブリード：Mr.Prospector S4×M5 Secretariat S5×M5

INTERVIEW

伊藤隆行 厩舎長（ノーザンファーム早来）

とにかく手のかからない馬です

一昨年の夏、そして去年の夏と牧場で管理をさせてもらいました。騏馬になったせいもありますが、とにかく手のかからない馬で、厩舎にいたほとんどのスタッフが一度はこの馬に跨ったはず。昨年夏は障害馬として頭角を現してきた時期ですが、トラブルもなく送り出せたことや、大竹厩舎とノーザンファーム天栄との連携がこの勝利に繋がったと思います。



S.Suzuki

ロードカナロア産駒の本馬は平地時代に新馬戦、ジュニアCと2勝を記録。5歳時の秋に障害へ転向すると入障初戦をいきなり快勝、昇級2戦目のオープン戦でもレコード勝ちを飾り、障害馬としての資質の高さを見せつけた。その後、東京ジャンプSはジュンペロシティに5馬身余り離れた3着不利が重なった中山大障害も大差の5着に敗れたが、この日は着実な進境が窺える走りで見事に優勝。混戦ムードが漂う春の王座を巡る争いにまた1頭、楽しみな新星が加わった。

父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 中央、香19戦13勝(香港スプリント^{G1}2回、安田記念^{G1}、スプリンターズS^{G1}2回、高松宮記念^{G1})、年度代表馬、最優秀短距離馬2回、14年から供用。20～24年日本リーディング2位〔代表産駒〕アーモンドアイ(ジャパンC^{G1}2回、ドバイターフ・首^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}2回、桜花賞^{G1}、オークス^{G1}、秋華賞^{G1}、ヴィクトリアマイル^{G1})、サートウルナーリア(皐月賞^{G1}、ホープフルS^{G1})、ダノンスマッシュ(香港スプリント^{G1}、高松宮記念^{G1})、パンサラッサ(ドバイターフ・首^{G1}、サウジC・沙^{G1})、ベラジオオペラ(大阪杯^{G1})、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップ^{G1})、ファストフォース(高松宮記念^{G1})、ブレイディヴェグ(エリザベス女王杯^{G1})、コスタノヴァ(フェブラリーS^{G1})、他に重賞勝ち馬多数

母リングネブラ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央23戦3勝
ネプロシティ(17 牡父ハービンジャーGB)中央8戦0勝、地方19戦1勝
ヴェイルネビュラ 本馬(18 騏父ロードカナロア)中央16戦2勝(ジュニアC・L)、障害7戦3勝(阪神スプリングジャンプJ・^{GII}、東京ジャンプS J・^{GIII}3着) 獲得総賞金130,419,000円
メイブルリッジ(19 牡父キングカメハメハ)中央13戦5勝(スレイブニルS^{OP}、是政S、香取特別、ブラジルC・L2着) ⑩
エビメテウス(20 牡父モーリス)中央6戦0勝 ⑩
(21 流産)
エルバステラ(22 牝父ナダルUSA)中央4戦0勝 ⑩
ルクリーシア(23 牝父ロードカナロア)
(24 牡父ホットロッドチャーリーUSA)

祖母ユーアンミーUSA

北米5勝(フォワードギャルS^{G3}、ダヴォナデイルS^{G2}2着、ノーブルダムゼルH^{G3}2着、カーディナルH^{G3}3着)、04年輸入、16年死亡
ミクロコスモス(06 牝父ネオユニヴァース)中央4勝(中山スプリングプレミアム、大倉山特別、阪神ジュベナイルフィリーズJ^{II}3着)、**サルファースコスモス**(エルフィンS・L)、**コズミックフォース**(プリンシパルS^{OP}、京成杯^{GIII}2着、日本ダービー^{G1}3着)の母
リングネブラ(09 前出)
ウェスターランド(12 騏父ネオユニヴァース)中央6勝(アンタレスS^{GIII}、チャンピオンズC^{G1}2着、シリウスS^{GIII}2着2回)、地方0勝(ダイオライト記念J^{II}2着、東京大賞典^{G1}3着2回、浦和記念J^{II}3着)

春の障害王座争いに7歳の新星現る

リニューアルオープン後に行われた最初の障害競走・阪神スプリングジャンプの双璧と目されたのは2頭の重賞ウイナー。これまで4つの勳章を獲得しているジュンペロシティと、喜れの中山大障害で2着に食い込んだ京都ジャンプSの覇者エコロデュエルが同じオッズ(単勝2・3倍)で、2番人氣を分け、レースは「二強」の色に染められた。とはいえ、中山グランドジャンプの前哨戦を制したのは4番人氣のヴェイルネビュラ。キャリアを重ねつつ、地力に磨きをかけてきた7歳馬が嬉しい重賞初制覇を果たした。

軽快なダッシュで飛び出したジュンペロシティが先手を奪取。エコロデュエルも追撃にかかったが、なかなか差を詰められず、レースは前の2頭の一騎打ちに。4コーナーからゴールまで続いた熾烈な追ひ比べの重配は、アタマ差でヴェイルネビュラに繋がった。

ロードカナロア産駒の本馬は平地時代に新馬戦、ジュニアCと2勝を記録。5歳時の秋に障害へ転向すると入障初戦をいきなり快勝、昇級2戦目のオープン戦でもレコード勝ちを飾り、障害馬としての資質の高さを見せつけた。その後、東京ジャンプSはジュンペロシティに5馬身余り離れた3着不利が重なった中山大障害も大差の5着に敗れたが、この日は着実な進境が窺える走りで見事に優勝。混戦ムードが漂う春の王座を巡る争いにまた1頭、楽しみな新星が加わった。